



あいことば 上宇部 2025

～「あい」「ことば」を大切にする学校～

12.05 NO-47

第3回学校運営協議会の開催報告

12月1日、第3回学校運営協議会を開催しました。今年度から、学校運営協議会の下部組織としてワーキンググループ(以下、WG)を設置しています。

<WG設置の目的>

■学校課題への責任ある関わり

▷学校課題(場合によっては地域課題も含む)ごとにWGを設置することで、課題が明確になります。

■迅速かつ継続的な対応

▷WGは常設または臨時で、課題に応じて柔軟に設置できます。これにより、フットワークが軽くなり、必要に応じて継続的な協議も可能です。

■多様な参画の促進

▷WGによっては、学校運営協議会長の判断で、教職員や地域の方、児童がオブザーバーとして参加できます。

■会議の整理・情報共有

▷これまで学校運営協議会委員が参加していた会議をWG化することで、どの会議がどのように展開されているかを共有できます。

<今回の協議会の流れ>

前半は以下に示した4つのWGに分かれて協議を行い、後半で各WGの報告と全体協議を実施しました。

①校則に関するWG

中学校へのスムーズな移行を見据えた小学校のルールの在り方について検討しました。児童や中学校の生徒指導担当教員も参加し、「校則はなぜあるのか」という基本的な問い合わせから意見を共有しました。

②あいさつに関するWG

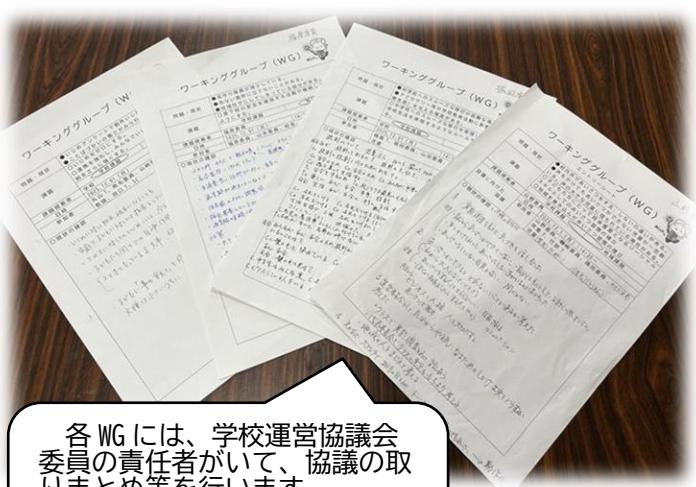
地域の方の「子どものあいさつの在り方を考えたい」という思いから設置されました。地域の方が登校時のあいさつ状況を調査し、そのレポートをもとに児童も交えて協議しました。

③いじめに関するWG

既存の「いじめ問題対策委員会」をWGとして実施しました。

④みまもり活動に関するWG

地域の方の「5年後、10年後のみまもり活動を考えたい」という思いから設置されました。上宇部地域の地図を用意し、危険箇所の共有や連携の在り方について協議しました。



各WGには、学校運営協議会委員の責任者がいて、協議の取りまとめ等を行います。
上写真は、責任者からの報告書です。これをもとに、全体協議を行いました。